

横山奈加子(ヴァイオリン)

桐朋女子高等学校音楽科を経て、1994年桐朋学園大学音楽学部を卒業。

97年同大学ソリスト・ディプロマコースを修了。この間、91年第60回日本音楽コンクール第3位。92年第5回日本国際音楽コンクール奨励賞。

94年第10回チャイコフスキー国際コンクール第5位。その後、第1回、第5回、第6回、宮崎国際室内楽音楽祭、また、サイトウ・キネン・オーケストラの公演等に出演した。

97年紀尾井ホールでリサイタル〔新日鉄プロミシング・アーティスト・シリーズ〕を行い、翌年、98年には、W.フルトヴェングラー「ヴァイオリンソナタ第2番」を鷺宮美幸氏と日本初演した。その他、NHK-FM「土曜リサイタル」「FMリサイタル」等にも出演した。

これまでに、村井陽子、安田明子、江藤アンジェラ、江藤俊哉の各氏に師事。

鷺宮美幸(ピアノ)

桐朋学園大学音楽科卒業。在学中、H.ピュイグ=ロジェ氏の推薦でパリに留学。第56回日本音楽コンクールを皮切りに、UFAM国際コンクール・室内楽部門第2位、日本室内楽コンクール第3位、国際ピアノ・デュオ・コンクール2台4手の部第2位など、多くのコンクールに入賞するとともに、トゥール国際アカデミーでは2年連続で最優秀受講生に選ばれた。ピアノを寺西昭子、T.パラスキヴェスコ、高木茉莉、松浪佳子、村手静子の各氏に、室内楽をJ.M.ダマーズ、三善晃、H.ピュイグ=ロジェの各氏に師事。ソリストとしてオーケストラとの共演や、M.マイスキー氏などの著名なアーティストとの共演も多い。また、京都フランス・アカデミー、いしかわミュージックアカデミーなど、各地の音楽祭の公式ピアニストを努める傍ら、桐朋学園大学の嘱託演奏員としても活躍している。

CDに、「バスーンプリランティシモ」「日本の作曲・21世紀の歩み」「鹿野祐美子/高山植物のきせつ」、「KOIDESSIMO」がある。